

インドから

今年のおまとめ

ご無沙汰しております。

季節は年の暮れ。師走というように皆様忙しい季節かと思えます。寒さも増す中、皆様ご健康には十分気を付けてください。といっても、こないだ中国で十二指腸潰瘍になり病院特集をした男の言葉では説得力ありませんが…。

さて私は12月中ほとんどインドにいます。帰国は年末になるのでしょうか。インドは今が一番過ごしやすい季節ですが、といっても日本の初夏ぐらいで、季節感はまったくありませんし、年末の行事ごとにも無縁です。

しかし、一応年の年の暮れということで簡単にインドの現状と今後の見通しを総括してみたいと思います。2月はベトナム、ミャンマーを訪問予定なので、インド情報については1月、3月、4月あたりで、もう少し掘下げて詳しく石種ごとにやろうと思いますのでご付き合いいただければ光栄です。

I, 工場：

弊社生産分においては比較的安定してきました。今年の中国の値上がり次第でしょうが、各社協力体制構築していますので月1~2コン程度は確保できるでしょう。3月ぐらいからはもう1コン程増やせる予定です。更にもう一社程協力工場化できないかと模索していますので、できる石種、生産量増やせる可能性大です。

II, 原石：

全体的に昔からある原石の供給は不安定。単価も値上げ傾向。色ごとに大まかに見ると、



・グレー（全体的に不安定）

新石種がかなりでていますが昔からある石種は生産量が減少、または採掘停止しています。バングレーは来年の選挙後半年ぐらいまでは何も決まらないと思います。それもこれもグレーのメインの生産地であるカルナタカ州にかなり特殊な規制が多数あるからなのですが…ここらへんは長くなるので今度詳しく紹介させていただきます。弊社としては状況見ながら新石種も提案させていただくかと思います。その際は選択肢の1つとしてご考慮いただければ幸いです。

・黒（比較的安定）

単価面では上昇傾向ですが一部石種除いて、弊社分供給量は比較的安定しています。新石種も続々開拓されていますので、やはりインド黒は強いです。

・緑～中間色（大幅値上げ、不安定傾向）

もともと扱いが難しい石種が多いので、全体的には不安定です。単価も継続的に上昇しています。また採掘が終わったりもしています。しかし新石種も比較的容易に見つけやすいので、切り替え等できれば問題ないかと思えます。

全体状況として上記のような様子です。

インドにおいても経済発展とともに内需が拡大しているので、今は現地の人間も積極的に購入に入っています。また環境保護の観念も出てきていますので中国の状況を後追いしている感じでしょうか？

厳しい状況ではありますが、弊社はある程度先を見越して手を打っていますし、状況に応じて新たな展開をしていきますので今後ともよろしく願いいたします。

